平成29(2017)年11月1日発行　第84号

こびとのおうちえんLetter

11月号

いねかり無事終了。今年はイノシシに入られたおれた稲が多く、ぐちょぐちょのところもありと難易度高かった。それでもみんな1人1人カマ持って上手にていねいにメリっていったなあ。たい方のたんぼは「迷路！」っていいながら、道をつくっていくのがみんな楽しそうだった。「○○とつながった！」って。メリっては、大人に渡したり、あぜのところまでもってきてそろえて置いたり、いっしょうけんめいやってくれてありがとう！いぜかけのところまで運んでくれてありがとう！

新米になっておうちえんのごはんはおかわりがふえてる。おいしい！

11月のスタッフプラン

- 山ですごそう
- いっぱい はしろう！

9日(木) おべんとうのひ

おべんとうの準備をお願いします。

10月はこんなことしました

- 山の広場であそぶ
- 山たんけん
- 落花生・えだまめをゆでて食べる
- むかご・しいの実とり
- 冬いちごつみ
- ふいげん寺・どうびがさきであそぶ
- けいドロ
- 野草天ぷら作り
- 柿もぎ
- いねかり
- 柿酢作り
- 干し柿づくり
- 大星山まで歩いていく
- たき火でおままごとスープ作り
- 切り絵
- 大野八幡宮までさいほ
- コロッケ作り(キッチンのお手伝い)

etc…

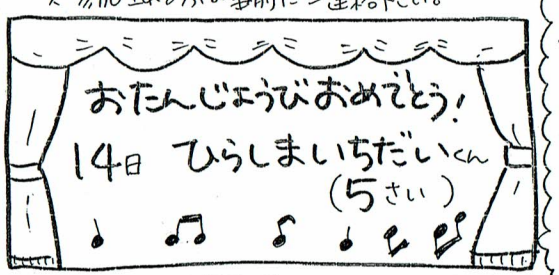
11月のお母さんグループ

10日(金) 13:00～15:00

場所：大野地区老人作業所

内容：「自分のことが好きですか？」
～「自分を好きになる本」を使ってワークしてみましょう～

※参加される方は事前にご連絡下さい。



_____ の様子をおしらせします。

ひかるのコーナー「頭で分かること、心でわかること」

先日、徳島にあるTOECでの研修に参加してきました。場所そのものやスタッフの立ち振る舞いなども参考になりましたが、様々な分野の人たちとの関わりで自分なりの意見や考えをじっくり考えるいい機会となりました。

これまでの半年間を振り返ると、1日の流れやルーティーンなどは時間が経つごとに理解してきているとは感じますが、自分の関わり方については まだ疑問や戸惑いがありました。研修の中での客観的な振り返りや周りの様々な反応で、自分の佇まいや言動を体感・検証することができました。

私は保育の現場の経験もありませんし、自分の子を育てたこともありません。基本的には どんな年齢、国籍、性別の人と話す際も ひとりの人として接するようにしていますが、やはり幼年期の子どもと接する場合、自分の受け止め方や表現の仕方によって相手の反応や行動が大きく変わる可能性もあります。同じ言葉を発したとしても、大人として若しくはスタッフとしての言動は、やはり子どものそれとは影響力に差があり、無意識に子どもの反応を操作していることもあるかもしれません。

今回の研修で自分の関わり方を分析すると、頭で分かろうとする傾向があり、その人の気持ちに寄り添うというより その人の抱える問題に焦点が当たっているようで、どこか冷たい印象も受けました。自分では気をつけているつもりでも、実際は論理的な理解をすることにとどまり、共感的な理解をしようとする姿勢が少し欠けていたのかもしれません。

また、場面ごとに流れや全体の動きを優先して、個人の気持ちを汲み取る余裕がなかったのかもしれません。そのため、そんなシチュエーションになっても 問題の解決や相手を納得・説得することに固執し、「思い通りにはならない」という大前提を忘れていたのだと感じました。

毎日のおうちえんの日常の中で トラブルや問題が生じても、ただ原因をつきとめようと試行錯誤するのではなく、もう少し その現場で起きている リアリティを追求することで 子どもに安心を与え、かつ客観的に俯瞰できるよう 居たいと思います。そして頭でっかちにならず、心と心で会話できるような関係性を築けていければと思います。

屋敷 光輝

キッチンスタッフより

キッチンに入らせてもらって、2ヶ月がたちました。ほどよい緊張感と、子どもたちの「おいしい!!」が、うれしくて楽しくて、給食のおばちゃんの仕事って最高！と感じています。

でもまだお昼に間に合わない日もあり、色々ご迷惑をかけたりしてますが、どうぞよろしくお願い致します。

分、日本の多くの学校給食の現状は ひどいものです。農薬、添加物、放射能 等々。献立もひどい。米飯給食が見直されてきてはいますが、なぜもっと給食を良くしようという動きが高まらないのか不思議なくらいです。

食べたもので体は作られています。生きるとは、食べるということ。おうちえん、てらこやのように食べることを大切にする動きが、もっと広がっていけばいいなと思います。

私にできることは少ないけど、ごはんやおやつを通して、もっと子どもたちや保護者のみなさんと仲良くなって、お役に立てれば嬉しいです。

谷村 せり

ようこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～

(10/10(火)) 干し柿づくり。今年は(みと)(ひさと)(てんこ)(あらた)(はる)と皮むきした。小さい子には むずかしいだろう…と思っていたのに、なんのなんの。年少組の子たちも上手にていねいに皮むいていく。そしてそのしずかな時間がうれしかったなあ。こうして受けつがれていく。干すところまではできなかったけど十分。夕方よしみさんが干伝ってくれて干した。次の日、とってもキレイなオレンジのカーテンがゆれてる。この景色がすき。この時期は あたたかく なかなか放エかしない。どうか、できますように！(10/16(月)) 雨つづきもあった。やっぱり難しかった。カビが出てきてる。このまま干してもむりだな。はずしていたら、やってきた(ゆいと)が、「ようこ、これは まだセーフかも」と大丈夫そうなのを1つ1つとってくれる。そうだね、食べられる分は食べよう。傷んだところをとってたべるとおいしかった。20個くらいは救出できたろうか。たべたい子いっぱいいた。(ゆいと)ありがと。

(あらた) ホビットハウスのようこにすわり、大きな声で 板と石を楽器(ギター)にして歌っている。「トレインとレイン」「ハッピーソング」「みのりのあき」「かみヒコーキ」「せんろは…」「カエルのうた」「ヤギさんゆうびん」…。私はそれをききながら、(こうた)と えだまめもぎをしている。次はかえうた。(ひくってよくうたっている。)「ようこは、えだまめとるのに いそがしい～ えだまめは、いっぱいあって たいへん～ ようこは わらってえだまめとってるよ～♪」(10/30)

(そうい) けいドロ。いつも足速いから なかなかみんなに追いかけてもらえない。「ゆうびーになりたい。」(10/13)

てらこやもマラソンモードになった。(ひかる)が 10/17 M.M で「足でグーチョキパーできる？できると足速くなるよ。って言って、私、チョキができないので特訓することに。(ゆうぴー)がタオルをゆびでたぐりよせるのがいいよといってやる。それから、足のゆびでずもう(タオルとり)がはじまった。(ゆいと)(そうい)(ドリル)(みと)(いちえ)(つむぎ)らと対戦。もり上がる。(かんせい)は「ドン！」と、スタートを合図する人。…3日ぼうず で、今はすっかりさぼってる私である。

本気でマラソン走って気もちわるくなったわたしい。あ、病院ごっこしてる…。(ほのこ)先生に、「足がいたいです。」と、ベッドに横になり診てもらう。(ほのこ)先生は、「大丈夫です。」「なおりま～す。」といってマッサージをはじめた。あー、なんてきもちいいの！そして、う～～ とうなりながら(そうい)(はる)(あらた)とけいドロへ。(そうい)も(はる)もタフなあ…。この2人、朝もひるも走っている。そして、うれしいかおをしている…。(10/10)

ひかるのりょうたろう語録

① (みと)(てんこ)とおうちごっこ。お父さん役。少々強引な小学生(てんこ)に、「小学生は何でもやってみたいんだゆ。」(10/24)

② ロングコースさいほ。金中、つりざおによさそうなケケをとってもってかえってくる。かえってきたら 糸つけて川へ。魚つり。「(つれるのは)ヒラメばっかり」(10/19)

(M.M)(ひさと)が(みと)と木にのぼる」というのをきいて、(みと)「みとちゃん、たいへん…」(10/27)

(いちだい) 山の広場で ドングリの皮むいて「アーモンド」といって あそんでた。(10/5)